



高島学園

中学校だより【第15号】【文責 校長 内藤 孝】

令和4年3月24日

TEL36-0079 FAX36-8012

42名の未来に幸多かれ

3月15日(火)に、第74回卒業証書授与式を挙行了しました。保護者のみな様と教職員の見守る中、42名の生徒は義務教育の課程を無事に修了し、卒業証書を手に入れました。

会場にお越しいただくことができなかった来賓のみな様やご家族をはじめ、地域の方々など、これまで彼らの成長を支えていただいた多くの方々に対し、心から御礼を申し上げますとともに、これからも、地域の担い手として育ってくれるよう見守っていただきたくお願い申し上げます。

式辞(抜粋)

入学直後のみなさんは、感情をあらわにすることが大変少なく、おとなしい様子であり、時には、自分を押し殺して登校しているのではとまで感じることもありましたが、あいさつの言葉がけをしても、無言で前を通り過ぎていく、そんな光景が見受けられました。

しかし、時を経て、経験を積むごとに、表情豊か、言葉豊かになっていきました。つまり、心豊かに成長したのです。授業中の発言や先生との何気ない日常会話、また、部活動での活気のある大きなかけ声を見聞きするにつけ、しっかりと意思表示をするようになったと感じています。

三年間の中学校生活のうちの二年間が新型コロナウイルス感染症とともにありました。行事や大会、コンクールが次々と中止・延期・縮小になる中、よくぞ安定した中学校生活を歩んだと称賛します。

表立った活躍の場が奪われる中であって、中学生の成長はあるということを証明してくれました。派手さこそありませんが、日常生活で小さな努力をひとつひとつ積み重ね、今日に至りました。この安定感はみなさんの強みです。この姿勢を、七年生、八年生に見習ってほしいと思っています。

制限のある、また、閉塞感のある学校生活を強いられながらも、着実な成長を遂げたみなさんの今後の人生に対して、前途洋々たるものであれと強く願いますが、社会や世界に目を転じれば、新型コロナウイルス感染症の感染の収束が見通せない状況が、今なおあり、また、近年まれにみる、大規模な戦争も起こっています。これらは、私たちの生活に少なからぬ影響を及ぼしています。さらに、技術革新により、働き方や雇用のあり方が変わるということが十分に予想されます。したがって、時代の変化や社会が求めるものを常に捉えておく必要があります。

さらに、長い人生においては、思いもよらぬ出来事や自力で解決できないことが身に降りかかります。そんな時に、孤独感にさいなまれることがあるかもしれません。

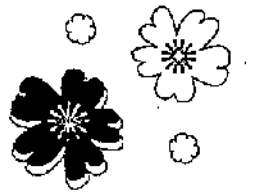


しかし、あえて言いますが、時に、孤独を味わい、孤独と闘うことは大切なことなのです。周囲に家族や仲間がいても、孤独と向き合うのは自分自身です。つまり、自分自身と向き合わざるを得ないのです。そうして、孤独を知る者こそが、他者の存在のありがたみを実感し、孤立することを回避します。とはいえ、それでも、誰にも言えない時、辛くてしかたがない時、どうしようもないと、うなだれる時があるかもしれません。そんな時は、いったん退却する、言い換えると、「難を逃れる」という言葉のとおり、その場を逃れることを考えてください。恥じることはありません。逃れたのちに大成した人、やり直した人は、歴史上も現在もたくさんいます。したがって、みなさんには、「前進する勇氣」に加えて、あくまでも、もしもの時のことですが、「時には逃れる勇氣」も併せ持つてほしいと思っています。

現在、一年前にはなかったタブレットを一人ひとりが手にして授業を受けています。そして、私が持っていない巧みさで使いこなしています。また、授業の配信も可能です。このように、年単位で生活は大きく様変わりする時代だと言えます。だからこそ、みなさんの持つ生真面目さに加えて、変化に対応する柔軟性、しなやかさをいっそう育ててください。

四月からは、新しい環境がみなさんを待ち受けています。不安もあるでしょうが、期待感のほうが大きいことでしょう。まずは、進学する学校での三年間が非常に大切です。なぜなら、在学中に成人するからです。当然のことですが、背負う責任が重くなります。したがって、成人にふさわしい、力と心、体を作り上げる三年間にしてください。

**無事に一年を終えることができました。
学校運営にご理解とご協力をいただき、
ありがとうございました。**



本日、修了式を行い、7年生46名と8年生55名がそれぞれの学年の教育課程を修了したことを受け、8年と9年への進級を認定しました。

7年生は、日に日にたくましくなり、すっかり中学生になりました。学年全体として、落ち着いた集団になったと周囲からも評価されています。したがって、「過去との比較」は、もう不要です。当たり前前を当たり前前にできるようになったのですから、今後は、生徒一人ひとりがもっているよさ、強みをさらに発揮し、伸ばすことで、後輩の手本となってほしいと思っています。どうせやるなら、「高島学園最強の学年」を目指してください。期待しています。

8年生は、いよいよ、「学園のリーダー」として活躍する時がやってきました。残された時間は1年間のみです。8年生全員だけでなく、全校生徒の力を結集して、「今までの先輩が成しえなかったこと」を成し遂げてください。それが何であるかは、あなたたちが考え、決定して実行するのです。このことは、あなたたちが入学してきた時から、温めていた構想です。あなたたちなら必ずできます。新型コロナウイルス感染症の感染がなかなか収束しませんが、こんな時だからこそ、行動を起こしてください。期待しています。

保護者のみな様、地域のみな様、高島学園の教育活動に対する、これまでのご理解とご協力を心から感謝申し上げます。高島学園のさらなる発展のために、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。1年間、ありがとうございました。